

基本刺鍼マニュアル

補法

- ①経に従って軽く取穴します。
- ⑦鍼がたわまないように留めて押し続けます。
- ⑧鍼先が目的の深さに進み、鍼先に気の来るのを感じました。
- ⑨指の間に鍼が有るのを確認できる程度に左右圧をかけます。
- ⑩抜鍼と同時に素早く鍼口を閉じます。

瀉法

- ①経に逆らって軽く取穴します。
- ⑦押す、辞める。押す、辞める。（リピート）
- ⑧抵抗が緩みました。
- ⑨鍼を鍼尖（しんせん）の方向に押し込むようにしながら加圧をかけます。
- ⑩ゆっくり抜鍼します。
- ⑪一呼吸置いた後、鍼口は閉じず押手を離します。

枯に応じた補中の瀉法

- ①経に逆らって軽く取穴します。
- ⑦2・3ミリ刺入します。
- ⑧ここで十分補います。
- ⑨幅ぜまに抜き差しします。
- ⑩抵抗が緩みました。
- ⑪押手の下面を穴所に密着させ、スーッと抜き去ります。
- ⑫鍼口は閉じません。

基本刺鍼マニュアル（問題）

補法

- ①経に（①）軽く取穴します。
- ⑦鍼が（②）に（③）押し続けます。
- ⑧鍼先が（④）に進み、鍼先に（⑤）を感じました。
- ⑨指の間に鍼が有るのを（⑥）に（⑦）をかけます。
- ⑩（⑧）と同時に素早く（⑨）を閉じます。

瀉法

- ①経に（①）軽く取穴します。
- ⑦（②）。（③）。※リピート
- ⑧（④）が緩みました。
- ⑨鍼を（⑤）の方向に（⑥）にしながら（⑦）をかけます。
- ⑩ゆっくり（⑧）します。
- ⑪（⑨）置いた後、（⑩）は閉じず（⑪）を離します。

（①）補中の瀉法。

- ①（②）に逆らって軽く取穴します。
- ⑦（③）刺入します。
- ⑧ここで（④）ます。
- ⑨幅ぜまに（⑤）します。
- ⑩抵抗が（⑥）ました。
- ⑪押手の（⑦）を穴所に（⑧）させ、スーッと（⑨）ます。
- ⑫鍼口は（⑩）。